

小児インフルエンザ 予防接種予診票

対象年齢：生後 6 か月から小学校 6 年まで

小児用

柏市

受診日	西暦	年	月	日	診察前の体温	度	分
接種回数	1回				2回		
住所	柏市						
予防接種番号							
ふりがな					生年月日	西暦	年 月 日
受ける人の氏名	(男・女)					(満 歳 ヶ月)	
保護者の氏名					電話番号		

質問事項	回答欄		医師記入欄
接種時に柏市に住民票はありますか 注意：接種時に柏市に住民票がない場合は全額自己負担となります。	いいえ	はい	
今日受ける予防接種について市町村から配られている説明書を読みましたか	いいえ	はい	
あなたのお子さんの発育歴についておたずねします 出生体重 () g 分娩時に異常がありましたか 出生後に異常がありましたか 乳児健診で異常があるといわれたことがありますか	あった あった ある	なかった なかった ない	
今日 体に具合の悪いところがありますか 具体的な症状を書いてください ()	はい	いいえ	
最近 1 か月以内に病気にかかりましたか 病名 ()	はい	いいえ	
1 か月以内に家族や遊び仲間に麻疹、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか (病名：)	はい	いいえ	
1 か月以内に予防接種を受けましたか 予防接種を受けた日と種類 (月 日：)	はい	いいえ	
生まれてから今までに先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症その他の病気にかかり、 医師の診察を受けていますか 病名 ()	はい	いいえ	
【“はい”と回答した場合】 その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよい といわれましたか	いいえ	はい	
ひきつけ(けいれん)をおこしたことがありますか 最後のけいれんは () 歳頃	はい	いいえ	
そのとき熱が出ましたか	いいえ	はい	
薬や食品(ゼラチン、鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発疹が出たり、体の具合が悪くなったことがありますか () 歳頃 薬品・食品名 () 症状 ()	はい	いいえ	
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい	いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか 予防接種の種類 ()	はい	いいえ	
近親者に予防接種を受けて具合が悪くなった人はいますか	はい	いいえ	
6 か月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか	はい	いいえ	
経鼻のみ これまでに重度の喘息などの呼吸器系疾患と診断されたことがありますか	はい	いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか 質問 ()	はい	いいえ	

医師記入欄	以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は 実施できる・見合わせる(理由：) 保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、 説明をしました。	医師の自筆署名又は記名押印
-------	---	---------------

保護者記入欄	医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的、重篤な副反応の可能性、予防接種健康被害制度などについて理解した上で、接種することに 同意します・同意しません ※どちらかに○ この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します。	保護者の自筆署名
--------	--	----------

使用ワクチン名	接種量 ※いずれかに○	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No. 有効期限 年 月 日 (注)有効期限が切れていないか要確認	皮下接種 3歳未満 0.25mL 経鼻接種 2歳以上 各鼻腔内に 0.1mLずつ 噴霧 3歳以上 0.5mL	実施場所： 医師名： 接種年月日： 西暦 年 月 日

(注) ガンマグロブリンは、血液製剤の一種で、A型肝炎などの感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射されることがあり、この注射を3～6か月以内に受けた方は、麻疹などの予防接種の効果が十分に出ないことがあります。

柏市提出分

柏市

小児インフルエンザ予防接種の説明書

【予防接種を受ける前に】

柏市小児インフルエンザ予防接種は、市が独自に費用助成を行うものです。予防接種法に基づかない任意の予防接種となります。

予診票を記入し、わからないことや気がかりなことがあれば、医師や看護師等とよく相談してください。十分に納得できない場合には、予防接種を受けないでください。

【インフルエンザとは？】

季節性インフルエンザは急性呼吸器感染症で、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などの全身症状が突然あらわれます。潜伏期は24～72時間です。呼吸器症状は遅れて出現することが多く、鼻閉、咽頭痛、せきなどです。合併症がなければ2～7日で治癒します。合併症、特に肺炎や脳症を併発した場合は重篤となります。（「予防接種と子どもの健康」より）

【小児インフルエンザ予防接種の効果】

乳幼児のインフルエンザワクチンの有効性に関しては、報告によって多少幅がありますが、概ね20～60%の発病予防効果があったと報告されています。また、乳幼児の重症化予防に関する有効性を示唆する報告も散見されます。（厚生労働省ホームページ「インフルエンザワクチン（季節性）Q&A」より）

【予防接種を受けることができない人】

- 明らかな発熱を呈している人（体温が37.5℃以上の人）
- 重篤な急性疾患にかかっている人
- インフルエンザワクチンに含まれる成分によって、ひどいアレルギー反応やショック状態を起こしたことが明らかな人
- 過去にインフルエンザの予防接種で、2日以内に発熱、発疹、じんましん等のアレルギー反応と想定される異常が見られた人
- その他、医師が予防接種を行うことが不適当な状態と判断した場合

【副反応について】

予防接種を受けた後、接種した部位が腫れたり、痛むことがあります。また、発熱、悪寒、頭痛、全身のだるさなどが見られることもあります。通常2～3日のうちに治ります。

予防接種を受けた後、接種部位のひどい腫れや熱、全身のじんましん、呼吸困難、繰り返す嘔吐、低血圧、高熱などの副反応と思われる症状が現れたら、接種した医師に相談し、診察を受けてください。

【予防接種による健康被害救済制度】

任意の予防接種によって引き起こされた副反応により医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済の対象となる場合があります。

【予防接種を受けた後の注意】

- 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがありますので、医師（医療機関）とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動は控えましょう。
- 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。